

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2006-26344

(P2006-26344A)

(43) 公開日 平成18年2月2日(2006.2.2)

(51) Int.Cl.

A61B 1/00 (2006.01)

F I

A61B 1/00 320B

テーマコード (参考)

4C061

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2004-232821 (P2004-232821)

(22) 出願日 平成16年7月12日 (2004.7.12)

(71) 出願人 504294053

早川 敏文

北海道札幌市北区北23条西4丁目1-1

5リーベンデール23 1202号

(72) 発明者 早川 敏文

北海道札幌市北区北23条西4丁目1-1

5リーベンデール23 1202号

Fターム(参考) 4C061 AA04 GG22

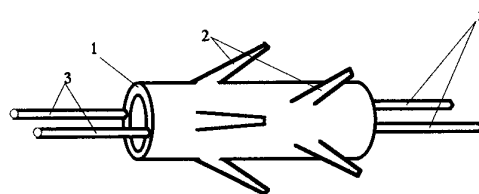
(54) 【発明の名称】 大腸内視鏡挿入用伸展脚式移動シース

(57) 【要約】

【目的】大腸内視鏡の挿入を容易とし、大腸内視鏡の回腸、腔腸までの挿入を可能とする。

【構成】本発明は大腸内視鏡用シースの内部を空洞とした空洞シース1を注入管3と連結し、周囲に注入管から送られてくる空気圧、もしくはオイル等の液体の圧によって伸び縮み出来る伸展脚2を取り付け、伸展脚が伸び縮みする事で大腸内視鏡ファイバーを通すシース本体をさらに大腸の奥へ、奥へと移動させる事を可能にしたものであり、大腸内視鏡ファイバーの先端にリング状のストッパーを設けシースを大腸内視鏡ファイバーの先端より前方へ行かない様にすることで大腸内視鏡ファイバーそのものを一緒に奥へ進める事が出来、大腸内視鏡の挿入を容易とし、回腸、腔腸までの挿入を可能とした大腸内視鏡挿入用伸展脚式移動シースである。又、同様のシースを注入管で連結する事で前進の為に推進力を増す事が可能であり、内部は外部より遮断された構造で衛生を保つ事が出来る。

【選択図】図6



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

大腸内視鏡シースの周囲に注入管より送られてくる空気圧、もしくはオイル等の液体の圧によって伸び縮み出来る伸展脚を取り付け奥へ前進してゆく事を可能とした大腸内視鏡シースであり、大腸内視鏡ファイバーの先端にストッパーを設けシースを大腸内視鏡ファイバーの先端より前方へ行かない様にすることで大腸内視鏡ファイバーそのものを一緒に奥へ進める事が出来る大腸内視鏡挿入用の移動式のシースである。

【発明の詳細な説明】

【発明の詳細な説明】

【0001】

10

本発明は大腸内視鏡用のシースの周囲に空気圧、もしくはオイル等の液体の圧によって伸び縮み出来る伸展脚を取り付け、大腸内視鏡ファイバーを通すシース本体をさらに奥へ、奥へと移動させる事を可能にしたものであり、大腸内視鏡ファイバーの先端にリング状のストッパーを設けシースを大腸内視鏡ファイバーの先端より前方へ行かない様にすることで大腸内視鏡ファイバーそのものを一緒に奥へ進める事が出来、回腸、腔腸までの挿入を可能とできる。

【0002】

従来より大腸内視鏡ファイバーの挿入は熟練の医師ですら時間を要し、患者に少なからず苦痛を強いるものとなっている。理由は大腸内視鏡ファイバーをある程度の力で外から押し下ったり引っ張ったりしなければ奥へは進めない部位が少なからず存在するからであり、外から加える力が大腸内視鏡ファイバーの先端に伝えずらい事が原因となっている。近年ダブルバルーン式のファイバーが開発され小腸までの観察が可能となっているが、一般の大腸カメラ検査より遥かに長い時間と苦痛を患者に強いるものとなっていて、操作が煩雑で、外からの外力をかなり要し、ファイバーの進行に難渋している。

20

【0003】

本案はそれらの問題を解決する為に発案されたものであり、図面について説明すれば、本案のシース内部は空洞となっていて空気もしくはオイル等の液体で満たされており、注入管3を通して空気もしくはオイル等の液体が陽圧で送られてくると、その圧によりシース空洞部5に連結したスライディング筒4が伸展し、逆に注入管3より陰圧で引くとスライディング筒4は縮む。スライディング筒4は伸展性に富む弾性ゴムで密閉状態で覆われて伸展脚2を形成し内部は外部と遮断されており、スライディング筒4の伸び縮みに合わせて伸展脚2が自由に伸び縮みする事ができる。伸展脚2の伸び縮みにより空洞シース筒1をさらに大腸の奥へ、奥へと移動させる事が可能であり、大腸内視鏡ファイバーの先端にリング状のストッパーを設け空洞シース筒1を大腸内視鏡ファイバーの先端より前方へ行かない様にすることで大腸内視鏡ファイバーそのものを一緒に奥へ進める事が出来、回腸、腔腸までの挿入を可能とできる。又、同様のシースを注入管3で連結する事で前進の為に推進力を増す事が可能である。

30

【0004】

このような構造であるから本案の伸展脚式移動シースは大腸内視鏡ファイバーの挿入手技を容易とし回腸、腔腸までの挿入を可能とできる。本案の伸展脚式移動シースの内部は外部とは遮断された構造であり、大腸内視鏡ファイバーと同様に洗浄して使用する事が出来る。

40

【図面の簡単な説明】

【図1】 本案の平面図。

【図2】 本案の側面図。

【図3】 本案の正面図。

【図4】 本案の背面図。

【図5】 本案伸展脚部の拡大断面図。

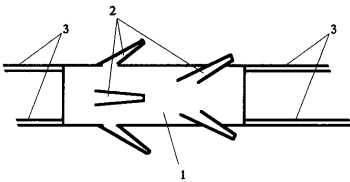
【図6】 本案の斜視図。

【符号の説明】

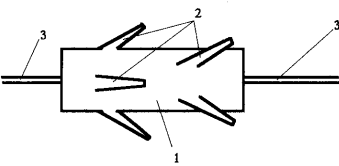
50

- 1 空洞シース筒
- 2 伸展脚
- 3 注入管
- 4 スライディング筒
- 5 シース空洞部

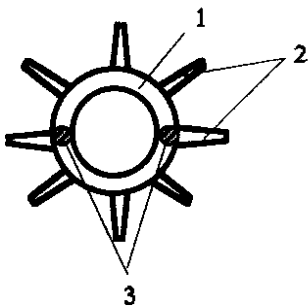
【図 1】



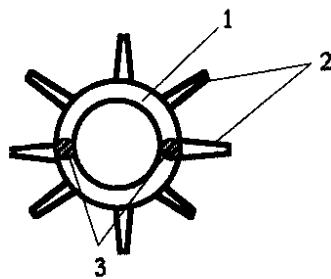
【図 2】



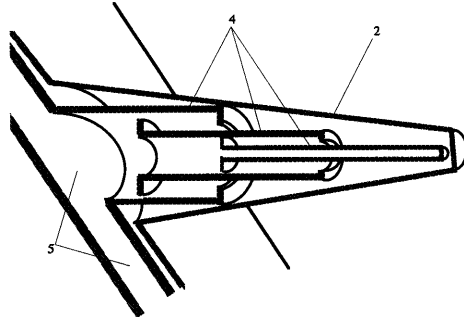
【図 3】



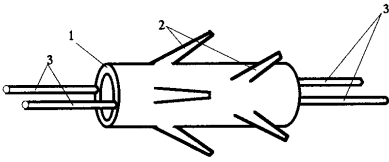
【図 4】



【図 5】



【図 6】



专利名称(译)	用于插入大肠内窥镜的延长腿式移动护套		
公开(公告)号	JP2006026344A	公开(公告)日	2006-02-02
申请号	JP2004232821	申请日	2004-07-12
[标]申请(专利权)人(译)	早川敏文		
申请(专利权)人(译)	早川敏文		
[标]发明人	早川敏文		
发明人	早川 敏文		
IPC分类号	A61B1/00		
FI分类号	A61B1/00.320.B A61B1/00.610 A61B1/01.511 A61B1/31		
F-TERM分类号	4C061/AA04 4C061/GG22 4C161/AA04 4C161/GG22		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

[目的]为了便于插入结肠镜并且能够插入大肠内窥镜的回肠和肠。[结构]本发明是一种中空鞘1与鞘进行结肠镜检查加上喷射管3，膨胀和收缩的内部的空腔由于所述液体的压力，例如空气或油，从喷射管周围来连接到它的延伸腿2，所述鞘主体的东西通过结肠镜检查纤维其膨胀和收缩的延伸腿进入大肠，这使它的更深移动到后面，结肠镜在光纤的远端设置有一个环形止动件的鞘可被推进到一起回来结肠镜检查纤维本身通过以免去在结肠镜检查纤维的前端的前部，结肠镜检查的插入的容易，回肠，能够与结肠镜插入扩展器腿式移动护套插入到腔肠。而且，类似于鞘能够提高驱动力用于通过与所述喷射管连接着它，内部可以保持卫生与从外部被阻止该结构。点域6

